

令和元年度 第7回 理事会議事録

日時：令和元年11月26日（火）19:00～20:30

場所：県士会事務所

出席：(理事) 小林伸、磯野、有泉、菊池、名取、古屋、
小林司、大西、三科、鈴木

(部長) 小林泰、入倉、秋山

書記：笹本

会員管理情報

慶事0件 弔事1件 施設数136

会員数910名(施設847名 自宅63名)

I. 審議事項(全3題)

1. 社会局委託事業部補正予算について：社会局委託事業部(古屋局長)

社会局委託事業部の当初予算が不足し、社会局長が立替を行う状況となっている。今後も交通費・会議費の支出が予定されている。補正予算の検討をお願いしたい。不足となった理由は、予算案作成時では予定されていなかった事業(郷育フォーラム等)へ参加することになり予算不足となった。

結論1万円の補正予算を組む。

2. PT士会向けの災害対策支援委員会研修会開催について：災害対策支援委員会(小林副会長)

PT士会独自の災害に対する研修会を2月7日に山梨県立中央病院で開催したい。内容は「災害について～導入～(仮)」として基本的な部分を第1回目行う。具体的には災害の概要、山梨JRAT設立までの流れ・活動内容、JRATでの活動、災害医療の研修会等の紹介、台風19号時にDMATとしての活動報告等を予定している。講師は、三井先生(放課後等デイサービスあおば)、大野先生(富士川病院)となる。

結論研修会を開催する。

3. 令和元年度都道府県コーディネーター連絡会議への出席について：地域支援事業等推進委員会(三科副会長)

12月15日(日)に東京都で次年度の「シルバーリハビリ体操指導士養成事業の全国展開事業」の会議がある。旅費は協会側からの支出となる。三科副会長、原田先生(石和温泉病院)の派遣を承認して頂きたい。

結論2名に参加していただく。

II. 報告事項(全21題)

1. 各種委員会報告

- ・選挙管理委員会：報告なし
- ・表彰委員会：報告なし
- ・士会支部組織化検討委員会
年度内に1度顔合わせを考えており、各施設からの回答待ちとなっている。

- ・糖尿病対策推進委員会：報告なし
 - ・訪問理学療法委員会
三士会で第11回訪問リハ実務者研修会を11月16日17日で開催した。
 - ・災害対策支援委員会：報告なし
 - ・地域支援事業等推進委員会：報告なし
 - ・特別支援教育委員会
令和1年度第1回研修会について、専門職団体協議会で11月5日にぴゅあ総合で『社会適応の困難な方の理解と支援—大人の発達障害を中心に—』をテーマに小林真理子先生(山梨英和大学)を講師に開催。参加者は80名のうちPTは23名であった。第2回研修会は2月29日開催予定。
 - ・認知症対策委員会：報告なし
 - ・がんリハ対策推進委員会：報告なし
 - ・やまなし地域リハ・ケアを考える会：報告なし
 - ・オリ・パラスポーツ委員会
 - 1) 関東甲信越ブロックスポーツ関連事業検討委員会について、10月26日に前橋市で情報交換を行った。
 - 2) オリパラについて採用が決定した。当士会からは12名推薦し、実人数10名(延べ11名)が決定した。次回の理事会で名簿を提出する。12月21・22日、1月18・19日、1月25・26日、2月8・9日、2月29・30日のいずれかの研修に参加する予定。来年度の予算は今後検討していく。
 - 3) スポーツ運営担当者会議が11月30日に開催され、小尾先生(山梨大学附属病院)が参加した。
 - ・働きやすい環境創り検討委員会：報告なし
 - ・山梨県リハ専門職団体協議会
ぴゅあ総合ならび克蘭パレス甲府利用時の駐車場について、11月5日の特別支援教育委員会の研修会時に、研修会参加者が克蘭パレス甲府の駐車場に駐車して大型バスが駐車できないアクシデントが発生した。当日は進入禁止のコーンを置いていたが動かされた形跡があった。今後、研修会等の開催時には駐車場のアナウンスの徹底をお願いしたい。
- #### 2. 学術大会局士会学術集会部(菊池局長)
- ・第23回山梨県理学療法士会学術集会の進捗状況の報告については以下の通り。各施設・個人会員宛てに学術集会のポスター・前参加登録申込書を郵送した。11月8日にスタッフ(20名)で決起集会を実施。11月28日にアピオ甲府で打ち合わせを行う。一般演題は23演題となった。プログラム等はHPへ随時更新中。12月中旬に学術集会誌を郵送の予定。事前参加登録の促しをお願いしたい。**意見**・HPに参加費(1500円)の記載がなかった。→HPに参加費を掲載する。既に事前申し込み済みの方にはメールで周知を図る。
- #### 3. 学術研修局学術研修部(名取局長)
- ・R1年度第3回学術研修会事業報告について、11月

17日に健康科学大学で「運動学習を基礎と臨床から考えるパフォーマンス向上に関わる運動制御学的メカニズム」をテーマに菅原先生（神奈川県立保健福祉大学）平賀先生（帝京科学大学）を講師に開催した。参加者は45名。途中退席を防ぐため、今回試験的に研修会後に認定専門ポイントの付与を行う形で対応したが、大きな混乱はなく参加者から意見はでなかった。作業負担も少ないため周知をした上で今後も継続的に実施をしていく予定。

- ・スタッフのお弁当注文でトラブルがあった。幸い金銭的な損害はなかった。これまでの注文は電話のみで2人以上のスタッフで注文する方法を取っていたが、今後はそれに加えて注文書や確認書をFAXや郵送など書面に残す方法で行う。
- ・R1年度第4回学術研修会開催について、2月23日にアピオ甲府で「肩関節の評価と運動療法（仮）」をテーマに赤羽根先生（さとう整形外科）を講師に開催する予定。2月23日はがんりハの研修会と同日。講師の先生の都合上日程を変えることができないため、この日程で開催する。

4. 社会局スポーツ理学療法部（古屋局長）

- ・U14ATF/U18ITF 国際 Jr テニス大会について、11/2～11/8、11/9～11/15、11/25～12/1に須玉クラブヴェルデで開催する。県外17名・部員18名が参加予定。来年オリパラまでは他県にも機会提供する予定。
- ・躰道全国大会について、11/24に小瀬スポーツ公園で実施。東京士会から3名・当士会スポーツPT部員3名参加した。
- ・スポーツ理学療法学会について、12/7～12/8に帝京平成大学（池袋）で小尾先生（山梨大学付属病院）と小林先生（山梨大学付属病院）がそれぞれ「地域におけるフューチャーズ国際テニス大会での活動報告」「山梨県理学療法士会におけるU14国際Jrテニス大会活動報告」を報告する。

5. 福祉厚生局（鈴木局長）

- ・医療・介護保険部合同研修会事業の報告について、10月25日に青少年センターで「基礎から学ぼう。医療・介護保険制度」をテーマに水上先生（赤坂台病院）、遠藤先生（山梨ライフケアホーム）が講演した。参加者は36名。
- ・地域理学療法研修会の内容について、「生活期リハビリテーションにおけるリハビリ専門職のあり方」の資料を基に進めていく。グループワークではケアマネ・家族とどのように情報共有・連携を図っていくのか、組み立ての順番等マネジメントの部分を考えて貰う予定。また、研修会後にはHPにアンケート結果があることを周知する。

6. 企画局（代理、有泉局長）

- ・第1回企画研修として11月6日に臨床実習に対する研修を高村先生（健康科学大学）を講師に開催。参

加者は83名。

7. 新人教育研修部（代理、有泉局長）

- ・第2回新人教育研修を11月6日に「統計」「症例発表の仕方」をテーマに開催。それぞれ23名、13名の参加があった。次回は、第23回学術集会の中で開催。

8. 事務管理局（有泉局長）

- ①士会活動における手当の支給（調査途中経過報告）について
 - ・現在、各委員会や各局へ会議や事業等に参加した士会員について、メールで問い合わせ中。
 - ・会議、行事、研修会等で士会からの交通費支払いは年間約20件である。
 - ・協会の場合、行動費（事業に対する日当）3000円、会議費（会議参加の謝礼）は4時間以内が3000円、4時間以上が6000円とする規定がある。
 - ・県内での士会事業に関わる士会員は企画立案、事前準備、当日の運営、撤収作業、夜間の対応等も行うため交通費以外の何らかの支払いが必要。今後県外、県内、事業内容等を精査し、出来れば来月の理事会で方向性を提案したい。

②PCのレンタル、リースについて

- ・リコーから再度見積もりを頂き、15台5年間だとリース約300万円、レンタル約750万円となった。別でセキュリティソフトを購入することになる。**意見**・見積もりの金額からすると優先順位を決めて1年ごとに新しく買い替える方針の方が良いのではないか。
- ・年度初めの拡大理事会時に各部局のPCを持って来て、ナンバリングを行うのはどうか。**結論**・現在保有しているPC台数、購入年月日を調査して把握する。データ管理についても再度確認をする（個人のUSBメモリの使用の有無等）。
- ・今年度は予備費の150万円から数台PCを購入する。学術で古いPCでシステムを運用しているので優先的に購入を進める。広報部ではスペックが良くないと編集等ができないため、詳細を確認する。

③令和2年度交流会について

- ・令和2年5月29日（金）にベルクラシック甲府で開催予定（6月～8月ベルクラ改修で利用不可能のため）。参加者のとりまとめ・受付等を湯村温泉病院にお問い合わせをした。

Ⅲ. その他

・臨床実習研修会の報告について（高村副会長）

11月23日、24日に健康科学大学で第1回の講習会を開催した。主催は山梨県協議会。会長は山本OT士会長、副会長は小林PT士会長。講習会は16時間の内容で、研修会後ディスカッションした内容を厚労省へ報告、内容に不備があると厚労省からやり直しの通達が

される。今回の研修の報告書が仕上がったので、協会を通して厚労省へ報告する予定。

今後は、2月15日16日に帝京科学大学で第2回目臨床実習指導者研修会を開催する。2020年度も健康科学大学と帝京科学大学で1回ずつ、定員50名程度で開催する予定。定員については世話人1名につき6名～10名。今回は6名の世話人だが、60名定員では厚労省の許可が下りず50名定員とした経緯がある。受講の対象は経験年数5年目以上のPTとなる。

・研修受講のポイントについて(有泉局長)

地域連携部から協会のポイント申請について問い合わせを受けた。専門や認定ポイントの場合は、講師が認定を持っていないとポイント対象の研修会には認められない。また3ヵ月前に協会に申請する必要がある。

IV. 次回の理事会日程について

日時 令和元年12月24日(火) 19:00～

場所 県士会事務所

連絡 12月20日(金)までに審議事項および資料を事務管理局(有泉理事)へ提出する。

議題がない場合でも事務管理局へ連絡する。

理事会資料は事前にメールで各理事へお伝えするが、プリントアウトは事務所で用意しておく。

V. 会長より

今年度あと4ヶ月となった。11月初めにST士会の20周年、明日、明後日と研修会が続き、実習指導者研修会も始まった。引き続き奮闘をお願いしたい。